

あしたのために

四日市市立朝明中学校
3年生学年通信
平成30年5月10日(木)
その12 文責(浅野)

学習

～3年生はやはり学習を中心にした生活を心がけたい～

家庭訪問最終日を迎えました。天候が大変不安定の中、どのクラスのご家庭も快く迎えていただき、大変感謝しております。本当にありがとうございました。本日もよろしく願いいたします。3年目を迎えた学校生活もようやく軌道に乗り始めたところです。家庭訪問での内容は、修学旅行のことや学校生活や家庭での様子を少し、という短いお話でした。進路に関しては、まだまだこれからというご家庭も多いようですが、やはり家庭での学習時間はどれくらいすればよいのか、これでいいのか、などの質問もありました。学習時間はしっかりと確保していけるといいですね。家庭での学習時間というのは、なぜ重要なのかという事を一度整理しておきたいと思います。その理由を知れば家庭学習で何をすべきなのかが見えてきます！家庭学習が重要な理由は二つ！

①授業の内容を定着させるため ②授業に備えるため

- ①：学校や塾で勉強して『理解』する『分かる』事はある程度出来るかもしれませんが、それを表現できる・・・もっと簡単に言えば、テストで点数が取れるかということそれはまた別話なのです。テストで点数を取るためには『分かる』ことを『出来る』ようにしなければなりません。問題演習であったり、暗記であったり、分からない箇所を確認して復習する事であったりと、内容は様々ですが授業を受けただけで完璧になる事はありませんので、それを補っていく事が必要です。それが定着させるということなのです。
- ②：授業での理解度を少しでも上げるために事前の準備をするということです。予習プリントなどがそれに当たりますよね。授業の内容が理解できなければ、①の授業の内容を定着させるための勉強にも、時間がかかるようになってしまいます。授業と言うのは、基本的に一人の先生が多数の生徒に語りかける形で行われます。勉強の進むペースと言うのは一定ですから、苦手な所であったりすると理解できないまま進んでしまう事があります。そうならないように、次の授業の大体の内容位は把握しておく事が重要です。教科書を読むだけでもずいぶん違います。

少し細かく書きましたが、要するに『予習』『復習』が大切ですという事です。『復習』を怠れば、点数を取りにくくなります。『予習』を怠れば、授業を理解しにくくなります。その二つをやるための場所と言うのは家庭しかないのです。ですから家庭学習がどれだけ重要なのかという事をしっかりと理解しておいてください。



受験生のみんなに贈る有名人の名言集7 2019年度公立高校後期選抜入試まで305日/卒業まで167日

“Courage to start and willingness to keep everlasting at it are the requisites for success.”

訳「始める勇気と、喜んでそれをやり続ける意欲が、成功の必要条件である」

これは、アメリカの政治家アロゾン・N・ベンという人の言葉。始めの一步、そして走り続けたい！という気持ちが必要。

✓CHECK willingness 「快くすること、いとわないでする心持ち・意欲」

中間テスト発表「計画が具体的かどうか」それが良いテスト勉強計画の条件です！具体的な計画を立てるために必要な要点はざっくり5つ！

- (1)試験範囲の把握…まずは全体（全教科）を見て、日割りをして計画を立てられているか。
- (2)優先順位…何から勉強するのか、何に時間をかけなくてはならないのか。
- (3)量の設定…どれだけ勉強するのか、提出物以外にどれくらいするのか。
- (4)期限の設定…いつから勉強し、いつまでに終わらせるのか。
- (5)勉強方法…どのように勉強するのか、教科書、ワーク、何回繰り返すのが理想なのか。

細かく詰めればきりがありませんが、ざっとこんなところです。逆に計画（や反省段階）での受験生としてのNGワードは、「がんばる」「しっかり」「きっちり」「集中して」などの曖昧な言葉です。副詞、形容詞はほとんど意味をなさないと思われます。名詞、数量、動詞で構成された「勉強すること(ToDo)」が最も**具体性の高いもの**となりますよ！3年生の初めての定期テストです。いいスタートがきれるように努力しましょう。

修学旅行に向けてⅢ～修学旅行見学地を探る～

国会議事堂 ～日本の政治の中心～（１日目）

まるで神殿のような立派な建物。国会議事堂。修学旅行の最初の見学先にもなっているところですね。みんなはこの国会議事堂の中がどのようなになっているか知ってますか？中央を境に衆議院と参議院とに分かれている。むかって右側が参議院、左側が衆議院です。みんなが見学させてもらうのは衆議院です！



参観コースは

- ① 参観ロビーで衆議院の活動や役割、議事堂の歩みの広報展示を見学
- ② 衆議院議場
- ③ 御休所
- ④ 中央広間
- ⑤ 前庭



注目すべきところ！～是非学習してきてほしい！～

廊下

議事堂内の廊下の長さは、階段などを含めて約4.6キロメートルあり、赤いじゅうたんが敷かれています！

中央広間

中央広間は、議事堂で一番高い中央塔の真下にあり、中央玄関から御休所へと通じる広間です。2階から6階までの吹き抜けになっていて、天井までの高さは32.62メートルあります。これは、法隆寺の五重の塔がちょうど入る高さです。

天井と窓には、ステンドグラスがはめ込まれ、光を採りこんでいます。当初、議事堂のすべてを国産品で建設する方針でしたが、ドアノブ、郵便投函筒、そしてこのステンドグラスは外国製品です。



巻貝の化石

床には、10数種類の大理石を使ったモザイクがほどこされています。その数は約100万個にもなります。また、柱や壁は、沖縄県で採れた珊瑚石灰岩(さんごせっかいがん)でできています。この石には、巻き貝などの化石が数多く含まれています。

また、中央広間には、議会政治の基礎を作るために功労のあった板垣退助、大隈重信、伊藤博文の銅像があります。これは、昭和13年(1938年)に大日本帝国憲法発布50年を記念して作られました。

板垣退助は明治の初めに国会の開設を求め自由民権運動を起こし、日本で最初の政党である自由党の党首をつとめました。大隈重信は日本で最初の政党内閣の総理大臣で、立憲改進党の党首として議会政治確立のため活動しました。伊藤博文は日本で最初の内閣総理大臣であり、初代の貴族院議長です。大日本帝国憲法の起草の中心的役割を果たしました。



板垣退助

大隈重信

伊藤博文

ところで、4つ目の台座には銅像がありません。これは、4人目を人選できず将来に持ち越されたといわれています。また、「政治に完成はない、未完の象徴」という意味もあるといわれています。

中央広間の四隅には、春夏秋冬の日本の四季を描いた油絵があります。当初は陶器のモザイクで作る計画でしたが、時間と費用がかかり過ぎるため、油絵に変更されました。作者によると、この風景のモデルは、あくまでも想像上のものだということです。



春

夏

秋

冬